

令和7年度

大樹町特色ある学校づくり推進事業

研究実践報告書



大樹町教育委員会

特色ある学校づくり研究実践報告書

学校名	研究主題	ページ数
大樹小学校	主体性（ワクワク感）を育て、児童自らが学びをすすめる授業の創造 ～子どもが主語となる授業づくり～	1～7
大樹中学校	<主題1> 学校力向上に向けた大樹中学校学習スタイルの確立 ～確かな学力を培うための授業スタイルと家庭学習の定着～ <主題2> 地域と連携したふるさと学習を通じて行うキャリア教育「大樹学」	8～13

研究実践報告書

大樹町立大樹小学校 校長 高橋 教之

- 1 研究主題 主体性（ワクワク感）を育て、児童自らが学びをすすめる授業の創造
～子どもが主語となる授業づくり～

2 研究目的

本校においては、創意工夫をこらした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識、技能の確実な定着をはかるとともに、思考力、判断力、表現力の育成など活用力を高め、学ぶ意欲を高める教育の充実が求められている。

そのためには、学校が地域社会、関係機関と連携し、ふるさと大樹の恵まれた自然・文化・施設などの教育資源や地域の教育力を有効に活用した学習活動を展開していくことが大切である。





そこで、平成14年度から全面実施された「総合的な学習の時間」を活用し、従来から実践してきた地域の教育資源を生かした学習活動をより一層充実、発展させ、大樹町ならではの教育を構築し、主体的に考え、判断し、豊かに表現する子どもの育成、ひいては「生きる力」を育むことを目的としている。


3 実践内容





実施期日	ねらい	内 容	地域との連携	各教科との関連
4月 ～2月	学校・地域に根差す伝承活動を推進することにより、地域を深く理解し合う心を養う。	・運動会	・地域住民 ・保護者	・体育
	読書活動に親しみ、読書から知識を得たり、読書の楽しみを知る。	・読書活動 ・集会活動	・地域住民 ・保護者	・生活 ・総合 ・国語 ・社会
5月 ～10月	植物を育て、それらの成長の様子を観察したり、日常的な世話をしたりすることにより、生産活動の大切さを知る。	・農作物栽培活動 ・調理実習、試食	・JA 大樹青年部 ・保護者	・生活 ・総合 ・理科
5月 ～2月	日常経験できない活動を通して、主体的・創造的に取り組む態度を養う。	・宿泊学習 ・修学旅行 ・自然体験活動 (炊事遠足他)	・大樹町教委 ・保護者	・生活 ・総合 ・体育 ・特別活動

学 校 名	大樹町立大樹小学校
学習活動の名称	令和7年度大樹小学校大運動会
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の体育活動及びその他の教育活動の成果を総合的に発表する。 ・ 運動機能を高め、体力の増進を図り、運動に対する意欲を高める。 ・ 集団行動における規律、責任、協力、公正などの態度を養う。
日時及び場所	令和7年6月7日（土） 大樹小学校グラウンド
参加対象	全校児童 227名
学習活動の内容	<p>8:30 開会式</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ラジオ体操 ② 赤白応援合戦 ③ 80メートル走(5年生) ④ 80メートル走(3年生) ⑤ 60メートル走(1年生) ⑥ 60メートル走(2年生) ⑦ 80メートル走(4年生) ⑧ 80メートル走(6年生) ⑨ 大玉ころがし(1年生) ⑩ ぐるぐるタイフーン(3年生) ⑪ GO!GO!ばん馬(5年生) ⑫ 元気ソングメドレー(1・2・3年生) ⑬ 綱引き(4年生) ⑭ 全力タイヤ奪い(6年生) ⑮ ダンシング☆玉入れ(2年生) ⑯ よさこいソーラン(4・5・6年生) ⑰ 赤白対抗リレー(1年生) ⑱ 赤白対抗リレー(2年生) ⑲ 赤白対抗リレー(3年生) ⑳ 赤白対抗リレー(4年生) ㉑ 赤白対抗リレー(5年生) ㉒ ファイナルリレー(6年生) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">    </div>
備 考	
成 果	・ 「ねらい」にそって、大樹小学校児童としての一体感の中、体育活動及びその他の教育活動の成果を総合的に発表することができた。
課 題	・ 今後とも運動会を通じた多様な経験の中で団体競技（活動）を学ぶ機会を多く持つことが必要である。

学 校 名	大樹町立大樹小学校
学習活動の名称	農園活動（3年生）
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の中で大樹町の農業について知る。 ・種・苗植え、散水、雑草取り、収穫を体験することにより、大樹の重要な産業である農業について理解を深める。
日時及び場所	令和7年
参加対象	第3学年 35名
学習活動の内容	<p>○令和7年5月19日 大樹小学校農園 JA大樹町青年部の皆さんに来ていただき、キャベツ、大豆、じゃがいも、ポップコーンの計4種類を畑に植えました。</p>  <p>○令和7年8月29日 JA大樹町青年部の皆さんに来ていただき、男爵、とよしろ。さやか、シャドークイーンとたくさんの品種のじゃがいもを収穫しました。</p> <p>○令和7年9月10日 JA大樹町青年部の皆さんに来ていただき、収穫したじゃがいもの販売会を行いました。</p>
備 考	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験をすることにより、大樹町の重要な産業である農業について理解を深めることができた。 ・児童が自然の中で活発に活動し、有意義な時間を過ごすことができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも総合的な学習の時間を利用し、大樹町の産業について、実地に体験することが重要であり、様々な形で継続した事業を行いたい。

学 校 名	大樹町立大樹小学校
学習活動の名称	地引網体験学習（5年生）
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の中で大樹町の産業(今年度は漁業)について知る。 ・地引網を体験することにより、大樹の重要な産業である漁業について理解を深める。
日時及び場所	令和7年7月9日（水） 大樹町浜大樹
参加対象	第5学年児童 37名
学習活動の内容	<p>9:30 学校発 9:50 浜大樹着 大樹漁協職員により地引網等の説明 大樹漁協組合員により地引網設置 10:00 参加児童・教職員・保護者により地引網体験 11:00 浜大樹発 11:30 学校着</p>    
備 考	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・地引網体験をすることにより、大樹町の重要な産業である漁業について理解を深めることができた。 ・児童が自然の中で活発に活動し、有意義な時間を過ごすことができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも総合的な学習の時間を利用し、大樹町の産業について、実地に体験することが重要であり、様々な形で継続した事業を行いたい。

学 校 名	大樹町立大樹小学校																
学習活動の名称	大樹小学校 学習発表会																
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の学習成果を総合的に発展させ、発表することの喜びを味わわせる。 ・事前の準備・参加をとして、自己をさらに伸ばし、お互いの協力によってよりよいものを作り出そうとする態度を育てる。 																
日時及び場所	令和7年11月15日（土） 大樹町生涯学習センター																
参加対象	全校児童 227名																
学習活動の内容	<p>半日日程</p> <table border="0"> <tr> <td>① 1年生 あいさつ</td> <td>はじめのことば</td> </tr> <tr> <td>② 1年生 音楽</td> <td>「リズムでるんるん♪」</td> </tr> <tr> <td>③ 3年生 音楽</td> <td>「音のディズニーランド Grade3」</td> </tr> <tr> <td>④ 5年生 音楽</td> <td>「やる気、元気、音楽隊」</td> </tr> <tr> <td>⑤ 2年生 劇</td> <td>「西遊記」</td> </tr> <tr> <td>⑥ 4年生 表現</td> <td>「落語劇」</td> </tr> <tr> <td>⑦ 6年生 劇</td> <td>「トラジ」</td> </tr> <tr> <td>⑧ 6年生 あいさつ</td> <td>おわりのことば</td> </tr> </table> 	① 1年生 あいさつ	はじめのことば	② 1年生 音楽	「リズムでるんるん♪」	③ 3年生 音楽	「音のディズニーランド Grade3」	④ 5年生 音楽	「やる気、元気、音楽隊」	⑤ 2年生 劇	「西遊記」	⑥ 4年生 表現	「落語劇」	⑦ 6年生 劇	「トラジ」	⑧ 6年生 あいさつ	おわりのことば
① 1年生 あいさつ	はじめのことば																
② 1年生 音楽	「リズムでるんるん♪」																
③ 3年生 音楽	「音のディズニーランド Grade3」																
④ 5年生 音楽	「やる気、元気、音楽隊」																
⑤ 2年生 劇	「西遊記」																
⑥ 4年生 表現	「落語劇」																
⑦ 6年生 劇	「トラジ」																
⑧ 6年生 あいさつ	おわりのことば																
備 考																	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」に沿って、日頃の学習成果を総合的に発展させ、発表することの喜びを味わうことができた。 																
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも保護者及び地域住民に発表することの喜びを感じさせるとともに、お互いの協力によってよりよいものを作りだそうとする態度を育てることが必要である。 																

学 校 名	大樹町立大樹小学校
学習活動の名称	冬のスポーツ学習（スキー学習）
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・北国ならではのスポーツであるスキーやスノーボードの基礎的な技術を習得するとともに、その楽しさを味わう。 ・友達同士の心の交流を深め、小学校生活のよりよい思い出づくりをする。
日時及び場所	令和8年1月30日（金） 幕別町忠類白銀台スキー場
参加対象	第6学年43名
学習活動の内容	<p>8：15 用具荷積み、教室にて健康観察 8：40 学校発 9：00 スキー場到着・レンタル準備 9：15 準備体操・日程説明・注意事項 9：30 グループ別学習 11：30 昼食時間 12：30 グループ別学習 13：30 集合・帰校準備 13：40 現地出発 14：00 学校着・解散</p>    
備 考	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・普段体験できないスポーツに親しみ、冬季スポーツの楽しさを味わうことができ、寒さに負けない体力を養うことができた。 ・友達同士の交流を深め、小学校生活のよりよい思い出づくりをすることができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も継続してスキー学習を体験させたい。

研究実践報告書

大樹町立大樹中学校 校長 大石 浩之

1 全体計画

研究主題 主体的に学び、情報を活用しながら探究し続ける生徒の育成
～個別最適・協働的な学びを通して～

2 研究目的

家庭の教育力の低下が全国的にも大きな課題となっているが、ここ大樹町においても同様の傾向がみられ、学習指導や生活指導、しつけが学校任せになっているといっても過言ではない状況である。

そのため、子どもたちが自主的に家庭学習計画を立て、主体的な学習ができる働きかけが必要になる。そして、学力を向上させるための授業スタイルを確立し、学習支援を充実させ、総合的に大樹中学校の学校力を向上させることがねらいである。

現在、少子・高齢化や人口減少、グローバル化や高度情報化など、社会が大きく変化し、予測困難な時代を生きていく子どもたちに、未来の創り手となる力を育むことが教育には求められている。

平成29年3月に告示された学習指導要領には「地域とともにある学校」が求められ、ここ大樹においても、北海道、十勝、大樹町と自分が生まれ育った地域の豊かな自然や歴史、伝統、文化、産業等に親しんだり、郷土に誇りと愛着をもち、地域社会の一員としてまちづくりにかかわろうとしたりするふるさと教育が重要である。


以上のことを踏まえ、学校は、教育活動全体の中で、さまざまな直接体験や間接体験を通し、コミュニケーション能力を高めたり、ふるさと十勝・大樹について、より興味関心をもったりすることができるような活動の充実を図ることで、子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むものとする。


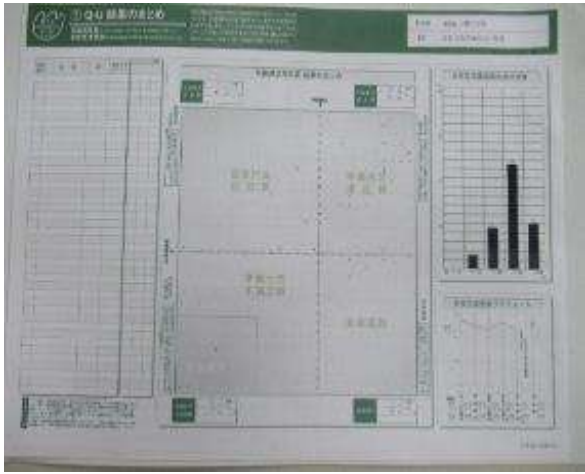
ここ大樹町においても地域人材の不足等がみられるが、子どもたちには、将来大樹町を支える人材になってもらえるよう、ふるさとを軸とした学習を進めていきたい。

3 実施内容

実施期日	ねらい	内容	地域との連携	各教科との関連
毎日	生活リズムの改善と家庭学習の充実	フォーサイト手帳使用による生活リズムの改善	全家庭	特別活動・道徳
4月	ふるさと学習	自主研修（修学旅行）～大樹町との比較学習	北海道内	特別活動・総合的な学習の時間
5月	異学年交流と好ましい集団づくり	表現活動（創作活動）		保健体育科
6月	よりよい学級集団づくり	H-QUの実施①		特別活動
	学習の定着の確認（補充的な学習）	放課後学習①（レッツベンキョー）		放課後
	電子メディアによる危険から身を守る	ネットトラブル防止教室	広尾警察署	特別活動
	事件や事故、危険から身を守る	初発型犯罪防止教室	広尾警察署	特別活動
	自己の健康や体力について考える	新体力テストの実施①		保健体育科
7月	ふるさと学習	野外学習（第1学年）	大樹町社会教育課	特別活動・総合的な学習の時間
	ふるさと学習	宿泊学習（第2学年）	大樹町内宿泊施設 大樹町社会教育課	特別活動・総合的な学習の時間
	豊かな心をはぐくむ	道徳等による授業参観		道徳等
8月	学習の定着の確認（自発的な学習）	休業中の学習①（レッツベンキョー）		休業中
10月	学習の定着の確認（補充的な学習）	放課後学習②（レッツベンキョー）		放課後
	大樹を知ろう学習	地域の講師による講話（大樹町の現状）	地域の事業所	総合的な学習の時間
	将来について考える学習	地域での職場体験学習	地域の事業所他	総合的な学習の時間
	よりよい学級集団づくり	H-QUの実施②		特別活動

11月	不審者侵入から身を守る	避難訓練	広尾警察署	特別活動
	学習の定着の確認（補充的な学習）	放課後学習③（レッツベンキョー）		放課後
	大樹を知ろう学習	地域おこし協力隊との意見交流	地域おこし協力隊	総合的な学習の時間
12月	学習の定着の確認（補充的な学習）	放課後学習④（レッツベンキョー）		放課後
	学習の定着の確認（自発的な学習）	休業中の学習②（レッツベンキョー）		休業中
	自己の健康や体力について考える	柔道授業		保健体育科
1月	学習の定着の確認（補充的な学習）	放課後学習⑤（レッツベンキョー）		放課後
2月	学習の定着の確認（補充的な学習）	放課後学習⑥（レッツベンキョー）		放課後
	大樹を知ろう学習	地域の方による講話（町おこし）	大樹町役場等	社会科
	大樹を知ろう学習	地域の方による日方川太鼓指導（町おこし）	日方川太鼓保存会	音楽科
	携帯電話による危険から身を守る	新入生説明会	広尾警察署 大樹小学校	
3月	自身の健康状態や身体にあった食べ方を知る	食講座	大樹町役場	保健体育科
	自然災害から身を守る	防災講座	大樹町役場	総合的な学習の時間

学校名	大樹町立大樹中学校
学習活動の名称	生活リズムの改善と家庭学習の充実 自己管理手帳の取組
ねらい	生活リズムの改善と家庭学習の充実を図る。
日時及び場所	通年（4月～3月）
参加対象	全校生徒129名（令和7年4月現在）
学習活動の内容	
成果	学習計画をこまめに記入し、実行できる生徒が、どの学級においても増えている。1日の感想の欄に、生徒は家庭の状況等を書いてくるため、家庭で何があったか、家族とどんな会話がなされているかがわかりやすかった。
課題	記入に個人差が見られるので、生徒が記入しやすく、1日の活動のふり返りがしやすい内容のものに変えていく必要がある。 全員の手帳に担任教師が目を通してあるため、時間の確保が難しい。学年団で分担して見ていくという方法もあり得る。

学校名	大樹町立大樹中学校
学習活動の名称	よりよい学級集団づくりの育成 H-QU
ねらい	よりよい学級集団づくりと友達づくりの状況分析を図る。
日時及び場所	6月・10月
参加対象	6月：全校生徒129名 10月：1・2年生82名
学習活動の内容	<p>楽しい学校生活を送るためのアンケートを行った。生徒の人間関係を把握し、指導に役立てた。</p>  
成果	<p>いずれの学年も学級満足度は高い傾向にあり、「配慮」や「かかわり」の二つの得点も安定して高い。ただし、1年においては「孤立感」を感じている生徒が数名いるため、学級づくりにおいて、個をつなげていく働きかけがより一層必要であることがわかった。</p>
課題	<p>結果に対応するために、どのような見立てをして、どのように対応するかが大事になるので、活用する側の教員が結果の読取や活用のスキルを更に身に付ける必要がある。</p>

学校名	大樹町立大樹中学校
学習活動の名称	ふるさと学習（異文化理解） 1年野外学習 2年宿泊学習 3年修学旅行（自主研修）
ねらい	ふるさと大樹についてのよさを体感する。
日時及び場所	4月（3学年）、6月（2学年）、7月（1学年）
参加対象	3年生47名 2年生43名 1年生40名
学習活動の内容	<p>新型コロナの対応も変わり、以前に近い活動ができるようになった(修学旅行)。充実した活動ができたのが良かった。町の自然に触れる活動を行った。3年生は函館等の見学を通じて、大樹町を見つめなおす機会とした。</p>    
成果	1・2・3年生と発達段階に応じた体験活動を通して、大樹町の魅力やよさを感じることができるようになっており、ふるさと大樹についてじっくり考える機会とすることができた。
課題	新型コロナ以前に近い活動ができるようになった。できる範囲で工夫、充実したプログラムを、教育委員会とも相談して実行していきたい。